

令和6年度 年間授業計画

田無工科高等学校

教科・科目	工業 実習		単位数	4
対象学年・組	3学年 都市工学科	教科担任	CA:小栗 幸田 清水 竹石 大嶺	
教科書	実習			
副教材	土木実習 土質実験の手引き			

教科 工業 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の意義や役割を理解する	工業における技術に、興味・関心を高める	広い視野と倫理観を持って工業の発展を図る意欲的な態度を育む

科目 実習 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
土木工事には、多種多様な公共性の高い工事がある。これらの公共事業は、構造物の品質だけではなく、施工時における安全管理環境保全管理も重要である。そのために必要とされる様々な試験について理解する。	JISで規定されている試験を中心に目的、方法、精度、器機の取り扱いについて学び、現場でどのように活用されるのか考察することが大切である。	実習・試験は複数のメンバーで行うので、順序・準備・片付けを含め、どのように行うか班で話し合い各役割の責任についても理解し果たすことが大切である。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
1 学期	①コンクリート実験 ・材料実験 ・密度試験 ②土質実験 ・含水比試験 ・土粒子の密度試験 ③施工実習 ・切土盛土実習	事故・ケガ等が起こらないようにする。 各実験・試験の準備、片付けを含め、どのような流れで行うか考えることができる。	【知識・技能】 実験・試験を理解、説明できる。 【思考・判断・表現】 順序等実験方法を判断して行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 理解できない生徒に教えることができる。	○	○	○	20
	定期考査						
	①コンクリート実験 ・材料実験 ・密度試験 ②土質実験 ・含水比試験 ・土粒子の密度試験 ③施工実習 ・切土盛土実習	事故・ケガ等が起こらないようにする。 各実験・試験の準備、片付けを含め、どのような流れで行うか考えることができる。	【知識・技能】 実験・試験を理解、説明できる。 【思考・判断・表現】 順序等実験方法を判断して行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 理解できない生徒に教えることができる。	○	○	○	20
	定期考査						
2 学期	①コンクリート実験 ・骨材のふるい分け試験 ・スランプ試験 ②土質実験 ・液性、塑性試験 ・突き固めによる土の締固め試験 ③施工実習 ・切土盛土実習	事故・ケガ等が起こらないようにする。 各実験・試験の準備、片付けを含め、どのような流れで行うか考えることができる。	【知識・技能】 実験・試験を理解、説明できる。 【思考・判断・表現】 順序等実験方法を判断して行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 理解できない生徒に教えることができる。	○	○	○	26
	定期考査						

1 期	①コンクリート実験 ・骨材のふるい分け試験 ・スランプ試験 ②土質実験 ・液性、塑性試験 ・突き固めによる土の締固め試験 ③施工実習 ・切土盛土実習	事故・ケガ等が起こらないようにする。 各実験・試験の準備、片付けを含め、ど のような流れで行うか考えることができ る。	【知識・技能】 実験・試験を理解、説明できる。 【思考・判断・表現】 順序等実験方法を判断して行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 理解できない生徒に教えることがで きる。	○	○	○	26
	定期考査						
3 学 期	奉仕活動実習 3年間勉強してきた技術を活かして学校内 で補修、制作できることを行う。	奉仕活動実習 3年間勉強してきた技術を活かして学校 内で補修、制作できることを行う。	奉仕活動実習 3年間勉強してきた技術を活かし て学校内で補修、制作できること を行う。	○	○	○	18
	定期考査						